

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:山口県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
	山口県	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保(畜産物)	畜産新技術	普及啓発資料の作成 2,400部	推進協議会の開催 2回 地域説明会、指導、普及啓発	普及啓発資料の作成 11,950部	推進協議会の開催、地域説明回、指導、副有啓発					100%
県域	全国農業協同組合連合会山口県本部	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保(畜産物)	畜産新技術	飼養管理情報提供対象農家戸数 100戸	飼養管理情報提供システムの整備 12か月	飼養管理情報提供対象農家戸数 100戸	飼養管理情報提供システムの整備 12か月					100%
	山口県	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保(畜産物)	生乳乳製品流通	生乳流通調査の実施により、県内生産量・流通量を把握する。	生乳流通調査の実施 10団体 県内生産者団体、乳業工場への指導 12回	生乳流通調査の実施により、県内生産量・流通量を把握した。	生乳流通調査の実施 10団体 県内生産者団体、乳業工場への指導 12回					100%
広島市	中国生乳販売農業協同組合連合会	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保(畜産物)	生乳乳製品流通	生乳計画生産目標数量の達成 平成16年度 343,643t	計画生産推進会議の開催 延べ538人、39回 現地指導(山口県酪農協委託分) 延べ24人、24回 計画生産推進会議の開催 延べ40人、4回 現地指導	生乳計画生産目標数量の達成 平成17年度 333,047t	計画生産推進会議の開催 延べ455人、39回 現地指導(山口県酪農協委託分) 延べ71人、60回 計画生産推進会議の開催 延べ133人、12回 現地指導					100%
	山口県	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保(畜産物)	食肉等流通体制整備	協議会2回の開催	飼養状況調査、動向調査の実施 2回 地域協議会の開催 2回	協議会2回の開催	出荷調査:鶏卵2回実施 地域協議会の開催					100%
	山口県	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保(畜産物)	食肉等流通体制整備	協議会3回の開催	肉豚出荷調査 12回 ブロイラー出荷調査 2回 協議会の実施	協議会3回の開催	出荷調査:肉豚12回、ブロイラー2回実施 協議会の開催					100%
下関市	下関市	産地競争力の強化	生産性の向上	土地利用型	1,140	無人ヘリ利用マニュアルの作成(1140部)	1,140	無人ヘリ利用マニュアルの作成(1140部)			安全指針作成については、ポジティブリスト制度を含めた内容で本年度再度見直しを図っていく。		100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名: 山口県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析 (必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
山口県	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上(農産物)	鳥獣害防止	鳥獣害に対する防除知識・技術の向上 サル対策技術マニュアル作成 野猿群位置情報の把握と情報の提供	・県鳥獣被害防止対策協議会の開催(13人、2回) ・鳥獣被害防止対策研修会の開催(1回) ・サル対策技術マニュアル作成・配布(3,000部) ・技術研修会の開催(25人、1回) ・テレメトリー調査の実施 ・野猿捕獲調査の実施 ・野猿行動情報の提供 ・現地研修会の開催(32名、2回) ・先進地調査の実施(2回)	鳥獣害に対する防除意識・技術が向上した。 サル対策技術マニュアル作成した。 野猿群位置情報の把握と情報を提供した。	鳥獣害に対する防除知識・技術の向上 ・県鳥獣被害防止対策協議会の開催(6月、11月:13人、2回) ・鳥獣被害防止対策研修会の開催(8月:1回) サル対策技術マニュアル作成 ・サル対策技術マニュアル作成・配布(3月:3,000部) 野猿群位置情報の把握と情報提供 ・技術研修会の開催(8月、25人) ・テレメトリー調査、野猿捕獲調査の実施 ・野猿行動情報の提供 ・現地研修会の開催(12月15人、1月12人) ・先進地調査の実施(1人、2回)			おおむね事業計画どおり実施したことから、 とした。		100%
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	畜産生産基盤育成強化	研修生受入農家パンフレットの作成 6回の肉用牛入門講座の開催	県内研修生の受入及び指導 50回 肉用牛入門交叉の開催 6回	研修生受入農家パンフレットの作成 6回の肉用牛入門講座の開催	県内研修生の受入及び指導 50回 肉用牛入門講座開催 6回					100%
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	畜産生産基盤育成強化	県計画の作成 目標経営類型設定	酪肉近代化計画作成 350部 農家経営等調査 100か所	県計画の作成 目標経営類型設定	酪肉近代化計画作成 350部 農家経営等調査 100か所					100%
萩市	萩市	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	畜産生産基盤育成強化	市町村計画の作成 (合併7市町村分)	農家経営調査 30人2回 計画協議・調整 4人4回	市町村計画の作成 (合併7市町村分)	農家経営調査 30人2回 計画協議・調整 4人4回					100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:山口県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	畜産生産基盤育成強化	アクションプランの策定 畜産状況レポートの作成	アクションプラン策定委員会1回 県、地域経営体支援指導 60経営体 畜産関係情報HPの整備	アクションプランの策定 畜産状況レポートの作成	アクションプラン策定委員会 1回 県、地域経営体支援指導 49経営体 畜産関係情報HPの整備					100%
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	畜産生産基盤育成強化	担い手育成ファームにおける新規就農希望者の研修	担い手育成ファームにおける新規就農希望者の研修 24ヶ月	担い手育成ファームにおける新規就農希望者の研修	担い手育成ファームにおける新規就農希望者の研修 24ヶ月					100%
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	飼料増産	飼料増産推進会議2回開催	県・地域飼料増産推進会議の開催 30人×2回 現地指導 8地域×1回	飼料増産推進会議2回開催	県・地域飼料増産推進会議の開催2回、資料作成、現地指導8地域					100%
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	飼料増産	山口型放牧に係る技術指針の作成	日本型放牧拡大調査 5か所 普及指導	山口型放牧に係る技術指針の作成	放牧利用実態調査2回、山口型放牧普及パンフレット作成					100%
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	飼料増産	奨励品種展示ほか4か所設置	奨励品種選定調査ほか30a 展示ほ設置 30a×4か所 新技術普及	奨励品種展示ほか4か所設置	奨励品種展示ほ設置 50a×4地区、奨励品種選定調査ほか30a、種子需要調査1回、新技術普及					100%
美祢市	美祢市	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	飼料増産	関係者10名参加の飼料増産推進会議を年2回開催	飼料増産推進会議 10人×2回 現地指導 資料作成、配布 150部	関係者10名参加の飼料増産推進会議を年2回開催	自給飼料増産推進会議の開催、現地指導、資料の作成・配布					100%
長門市	長門市	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	飼料増産	飼料増産に係る検討会(20人参加)を2回開催	飼料増産推進協議会、水田活用飼料生産検討会の開催 20人×2回	飼料増産に係る検討会(20人参加)を2回開催	飼料増産推進協議会の開催、水田活用型飼料生産検討会の開催(20人×2回)					100%
阿武町	阿武町	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	飼料増産	飼料増産に係る検討会(20人参加)を2回開催	飼料増産推進協議会 20人×1回	飼料増産に係る検討会(20人参加)を2回開催	飼料増産推進会議 20人×2回					100%
美和町	美和町	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	飼料増産	営農集団への3.2haの技術実証の委託	飼料生産技術実証促進の実施 3.2ha	営農集団への3.2haの技術実証の委託	実証ほの設置3.2ha					100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:山口県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析 (必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上 (畜産物)	家畜改良増殖	2回の会議開催	牛群検定・後代検定の推進会議 2回 事業主体の指導	2回の会議開催	牛群検定・後代検定の推進会議 2回 事業主体の指導					100%
県域	山口県乳用牛群検定組合	産地競争力の強化	生産性の向上 (畜産物)	家畜改良増殖	乳用牛群検定の実施と推進	乳用牛群検定の実施と推進 (44戸、1,750頭)	乳用牛群検定の実施と推進	牛群検定の実施と推進 (41戸、1,810頭)					100%
県域	山口県乳用牛群検定組合	産地競争力の強化	生産性の向上 (畜産物)	家畜改良増殖	後代検定の実施	後代検定の実施と推進 (調整交配60頭)	後代検定の実施	後代検定の実施と推進 (調整交配268頭)					100%
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上 (畜産物)	家畜改良増殖	現場後代検定の 日齢枝肉重量及び脂肪交雑(BMS) の検定成績の向上率の平均が 1%以上	肉用雄牛後代検定 2頭 肉用雌牛整備 350頭	現場後代検定成績:枝肉重量 4%向上、脂肪交雑4%低下 (対16年度)	肉用雄牛後代検定 2頭実施 肉用雌牛整備 350頭を選定			肉用子牛価格高騰により、検定 農家が望む現場後代検定牛の 確保が難しかった。		50%
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上 (畜産物)	家畜改良増殖	転飼申請に対し、 100%の転飼許可の実施	みつばち転飼調整を円滑にするための協議会等の開催 5回	182件の転飼申請に対して 100%の転飼調整を実施。	182件の転飼申請に対して 100%の転飼調整を実施。					100%
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上 (畜産物)	家畜改良増殖	計 137頭の導入	家畜導入の推進 基金 造成計123頭	139頭の導入を実施。	139頭の導入を実施。					100%
県域	全国農業協同組合連合会山口県本部	産地競争力の強化	生産性の向上 (畜産物)	家畜改良増殖	87頭の導入	農協等有導入の実施、 家畜導入の推進基金造成87頭	89頭の導入を実施。	89頭の導入を実施。					100%
県域	山口県酪農農業協同組合	産地競争力の強化	生産性の向上 (畜産物)	家畜改良増殖	30頭の導入	高品質導入の実施、家畜導入の推進 基金造成16頭	30頭の導入を実施。	30頭の導入を実施。					100%
県域	防府酪農農業協同組合	産地競争力の強化	生産性の向上 (畜産物)	家畜改良増殖	20頭の導入	高品質導入の実施、家畜導入の推進 基金造成20頭	20頭の導入を実施。	20頭の導入を実施。					100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名: 山口県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	畜産新技術	受胎率50% 性別別受精卵移植頭数が5%増加	ET推進協議会の開催 2回 共同試験実施 共同試験卵移植50頭 雌雄産み分け技術実施 性別別卵移植20頭	受胎率49% 性別別受精卵移植頭数は0%増加	ET推進協議会の開催 2回 共同試験卵移植 36頭 性別別卵移植 13頭			性別別移植対象牛として計画していたドナー20頭のうち、繁殖供用開始時期を過ぎているにもかかわらず移植計画期間内に微弱な発情しか認められず移植を断念したものが2頭、横体囊種により移植できなかったものが2頭、右卵巢が欠損しており試験牛として不適と判断したものが1頭、分娩間隔の延長を避けるため人口授精が実施された近隣農家の協力牛が2頭であった。 また、性別別にかかる受胎率が平成16年度の70%から平成17年度は31%と低下した。このため、共同試験での受胎率は56%であったが、全体受胎率は49%となった。		50%
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	耕種作物活用型飼料増産	展示実証ほ4か所設置	稲発酵粗飼料展示 4か所 実証ほの設置、飼料分析 60項目 技術確立試験 20a	展示実証ほ4か所設置	稲発酵粗飼料実証ほ 50a×4地区 飼料分析、搾乳牛への給与実証(2地区)					100%
阿武町	阿武町	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	耕種作物活用型飼料増産	稲発酵粗飼料の単収10%向上	耕種作物活用型飼料増産計画作成推進員の設置 1人×10回	稲発酵粗飼料の単収6%向上	飼料増産推進会議 20人×2回、利用供給契約締結の円滑化のための推進員設置 1人×4回			阿武町全体の平均では単収6%しか向上ならなかったが、個別には17%向上したほ場もあり、多くのほ場では単収が向上している。 ただ、大きなウエイトを占めるほ場において、平成17年度の作柄が悪く、単収が1%低下した。このため、町全体の平均単収の伸びが6%となっている。		50%
	山口県	産地競争力の強化	生産性の向上(畜産物)	多角的農作業コントラクター育成	飼料生産外部化に関する会議を年2回開催	受委託に係る推進会議 10人×2回 現地指導 8か所	飼料生産外部化に関する会議を年2回開催	コントラクター推進会議2回、コントラクター実態調査1回、現地指導8地区					100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名:山口県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析 (必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
阿武町	阿武町	産地競争力の強化	生産性の向上 (畜産物)	多角的農作業コントラクター育成	オペレーターの技能向上講習会の年2回開催	コントラクター推進会議の開催 20人×2回 技能向上講習会 2回	オペレーターの技能向上講習会の年2回開催	コントラクター推進会議 6人×1回、オペレーター技能講習会2回、先進地優良事例調査1回					100%
山口県	山口県	産地競争力の強化	品質向上	土地利用型	1	麦有望品種の品質評価の実施(1回)	1	麦有望品種の品質評価の実施(1回)			麦の品質評価を実施することで、有望品種の選定を行い、作付け拡大に向けた取組を今後も実施していく。		100%
山口県	全農山口県本部	産地競争力の強化	品質の向上	土地利用型	1	食味データ(3000)分析、大豆品質分析(1回)	1	食味データ(3000)分析、大豆品質分析(1回)			データ分析を実施し、品質の向上に向けた取組を今後も実施していく。		100%
山口県	全国農業協同組合連合会山口県本部	産地競争力の強化	品質の向上	果樹	県オリジナル柑きつ「ゆめほっぺ」研修会の開催	・県オリジナル柑きつ「ゆめほっぺ」研修会の開催 ・果実調査、分析 ・市場調査	県オリジナル柑きつ「ゆめほっぺ」研修会の開催	1.現地研修会の開催(150名×2回) 2.果実調査、分析 3.市場調査(東京市場、1名×2回)					100%
美祿市	山口美祿農業協同組合	産地競争力の強化	品質の向上	果樹	栽培管理資料2,000部作成・配布	栽培技術講習会の開催 低樹高栽培実証ほの設置 栽培管理資料の作成	栽培管理資料3,480部作成・配布	栽培技術講習会の開催(4回、19カ所) 低樹高栽培実証ほの設置(1カ所) 栽培管理資料の作成(3,480部)					100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名: 山口県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析(必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
周防大島町	山口大島農業協同組合	産地競争力の強化	品質の向上	果樹	栽培管理資料3,000部作成・配布	・産地協議会を開催し、果樹産地構造改革計画の検討 ・協議会の開催 ・栽培技術資料の作成 ・優良産地の研修 ・現地研修会の開催	栽培管理資料3,000部作成・配布	・産地協議会を開催し、果樹産地構造改革計画の策定 ・栽培管理技術資料の作成・配布 ・優良事例調査により新系統(中生種)の品種特性及び選果場統合の取り組みについての調査実施 ・生産者大会開催により担い手問題、高品質対策、せとみの早期産地化に向けた意識の統一を図るとともに、県オリジナルかんきつ「せとみ」の研修会を行った。					100%
山口県	山口県	産地競争力の強化	農作業の機械化・安全の確立	農業生産資材費低減	100	農作業事故資料作成 農作業安全ポスター(100部)	100	農作業事故資料作成 農作業安全ポスター(100部)			農作業事故防止啓発を実施し、県内における農作業死亡事故等の減少に向けて今後も関係機関と連携し、取り組む。		100%
山口県	山口県	産地競争力の強化	農作業の機械化・安全の確立	農業生産資材費低減	35	農業機械士の育成(35名)	44	農業機械士の育成(44名)			農業機械の適正な使用に向けた技能者の育成を行い、新たな施策等に対応した農業生産体制の構築に向けて、より一層取り組んでいく。		100%
山口県	全国農業協同組合連合会山口県本部	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増野菜	野菜産地育成指針案の策定	園芸振興研修会 たまねぎ機械化一貫体系推進研修会 栽培履歴記帳研修会 先進地事例調査 産地指針検討会	野菜産地育成指針案の策定	1.輸入農産物対策 ・園芸振興・機械化体系研修会 ・実証圃設置 ・野菜産地育成指針案策定検討会 2.生産履歴の記帳 ・DB研修会 ・パンフレット ・先進地事例調査 ・研修会への調査 3.情報開示 ・エコ農産物の情報開示					100%

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした推進事業)

(都道府県名: 山口県)

市町村名 (または地区名)	事業実施主体名	政策目的	政策目標	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		事業実施主体による評価	都道府県による評価	都道府県による評価結果の判断根拠、要因分析 (必要に応じて記入)	農政局による評価	成果目標の達成率
					成果目標	事業内容(計画)	成果目標に対する成果実績	事業実績					
山口市	全国農業協同組合連合会山口県本部	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増野菜	残留農薬検査結果に基づく適正指導(12JA各1ヶ所)	1. 研修会の実施 ・分析研修会参加1ヶ所 ・先進地での視察及び研修2ヶ所 ・メーカー講習2ヶ所 ・JA担当者研修会 2. 事務実務報告会の実施	残留農薬検査結果に基づく適正指導(県内全JAで実施、12JAに統合)	1. 研修会の実施 ・分析研修会参加2ヶ所 ・先進地での視察及び研修2ヶ所 ・メーカー講習2ヶ所 ・JA担当者研修会 2. 事務実務報告会の実施			研修会への参加等により、残留農薬分析担当者の技術能力向上が図られ、当初計画を上回る454検体の分析を実施。18年度目標の904検体の目途がたった。 併せて、分析結果及び生産履歴記帳に基づく指導体制が構築されたことで、農薬の適正使用に基づく、安全安心な農産物づくりが強化された。		100%

様式は「強い農業づくり交付金の事業評価の実施について」(平成17年10月3日付け17生産第3510号農林水産省大臣官房国際部長、農林水産省総合食料局長、農林水産省生産局長、農林水産省経営局長通知)別記様式1-(1)に準じる。

(注)1. 取組名欄の( )内には、対象作物・畜種等名を記入する。  
る。

3. 複数の項目を成果目標として掲げている場合、成果目標の達成率は、それぞれの項目の達成率の平均とする。  
4. 地方農政局等において記入する成果目標の達成率については、    においては100%、    においては50%、×においては0%の達成率とする。